

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	レオ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1 日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年2 月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	レオでは「できた」を増やし、自信繋げるという理念のもと、創作活動・学習活動・作業活動・コミュニケーション支援など、日々の活動を通して子供達の成功体験を大切に支援を行っています	季節行事や外出活動を取り入れ、季節感や日本の行事の意味を伝えるとともに、社会のルールやマナー、人との適切な距離感を体験に学べるように支援	今後は日々の支援の中で「できたこと」をより分かりやすく共有出来るよう、記録やフィードバックの工夫を行い、子供・保護者職員が成長を実感できる仕組みづくりを進めていきたいと考えていきます。
2	一人でひとりの特性やペースに合わせた関わりを心がけ、小さな「できた」を積み重ねることで、自己肯定感の向上につながる支援を強みとしています	活動前後に簡単な振り返りを行い、「できたこと」に目をむけて声かけを行うことで、子供自身が達成感を感じられるよう意識しています。	行事や外出活動についても、目的や狙いを職員間で共通し、支援の視点を統一することでよりしつの高療育につながっていきたくと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援の中で職員間の情報共有や振り返りの時間が十分に確保できず、支援の視点やかかわり方にばらつきが出てしまう場面があります。 行事や外出活動についても、活動の狙いや目的をレオとして整理・共通しきれない部分があると感じています	子供一人ひとりの成長や「できたこと」を、職員間だけでなく保護者にも分かりやすく共有できる体制づくりが課題です。	短時間でも職員間で振り返りや共通を行う機会を設けて支援の狙いや関わり方の共通整理を図って行きます
2			行事や外出活動について事前に目的や狙いを整理し、活動後には簡単な振り返りを行うことで、体験が学ぶにつながる支援となるように工夫していきます。
3			